

「関西三会及び東海会」研修会 参加レポート

組織内会計士ネットワークサポート専門委員会
 専門委員 鎌田 浩嗣

2023年11月18日、19日にかけて日本公認会計士協会近畿会研修室にて、関西三会（京滋会、近畿会、兵庫県）及び東海会による研修会が開催されました。同4地域会に北陸会を加えた中日本五会は、かねて活発に合同の活動を行い、組織内会計士向けの合宿研修も毎年のように行っています（コロナ禍の2020～2021年を除く）。

本部組織内会計士ネットワークサポート専門委員会は、各地域会のリアルネットワーキング活動の支援を行う目的で、中日本五会の活動を参考にするため、専門委員を派遣し視察を行いました。

日時： 2023年11月18日（土）～19日（日）

場所： 日本公認会計士協会 近畿会研修室

研修内容：

(1) 11月18日（土）14：00～15：40

テーマ：「専門家から経営マインドの涵養」

講師：木村 好己 氏（サン電子株式会社 代表取締役専務 公認会計士）

進行：板倉 弘典 氏（シャチハタ株式会社 経営企画部 公認会計士）

木村氏の多彩な公認会計士人生に関して、公認会計士2次試験合格後の海外留学を経て、米国会計事務所、システム・エンジニアを経験、医療機器会社の上場や税務当局との対応やM&A、特許係争事案など、その時々の大変示唆に富むお話を伺うことができました。早い時期から組織内会計士（PAIB）としてCFOに就任し経営に携わってきた木村氏からは、「事業部門の経営リーダーのままでは経営者としての真の意味でのリーダーにはなれない、PAIBの特徴はその専門性にあり、会社だけでなく社会全体に貢献することを考えよ」とPAIBの皆さんへの大いなるエールをいただきました。



(2) 11月18日（土）16：00～17：40

テーマ：「地方議員というキャリア、地方の市議会議員になって感じたこと」

講師：和田 泰史氏（熊野市議会議員 公認会計士）

2022年4月の統一地方選挙で、三重県熊野市議会選挙に無所属で出馬しトップ当選した和田氏に、熊野市議会議員としての飾らない普段の姿、業務内容をせきららに語っていただきました。地方ならではの課題として、空き家、医療、水道管の交換などのインフラ維持、獣害、地元事業の後継者不足、学校の統廃合など、多くの問題を抱えながらも、市議会の一般質問を有効活用して市政の改革に挑む、新進気鋭の市議の取組みについて説明いただきました。



(3) 11月19日(日) 10:00~11:40

テーマ:「企業の『DXの推進』について」

講師:川瀬 敬義(近畿会 組織内会計士専門委員会 委員長)

板倉 弘典(東海会 組織内会計士小委員会 委員)

パネルディスカッション形式で、企業における「DX推進」についての課題、DX人材に求められるスキル・資質などについて、会場参加者からも意見を募り議論しながら進められました。後半では、ケーススタディとして、生産工程における品質記録を電子ファイル化して保存すべきか否か、海外子会社において日本と同様の生産管理システムをトップダウンで導入したが、うまく運用されなかった例などが取り上げられ、単にDX化するだけでなく、公認会計士ならではの内部統制に対する理解なども必要であって、公認会計士こそまさにDX人材であるとの意見もありました。



初日は50人前後が参加する研修会となり、参加者のみなさんの意気が盛り上がったところで、近隣会場で懇親会が行われました。そこかしこでたいへん活発な議論や意見交換が行われ、1年ぶりの再会を喜ぶ参加者の姿も多くみられました。早くも来年の開催地はどこがよいかと、次回開催を楽しみにする声も多かったのが印象的でした。

また、研修会の際には、東海会の伊藤副会長から、来年の研究大会が名古屋で行われること、信長・秀吉・家康を想起させる「破壊、想像、継承。前例踏襲を打ち破れ!」をテーマとしたPR動画が提供され、いくつかの企画についてもご説明があり、今から熱く燃える東海会のエネルギーを感じさせる中日本五会の研修会となりました。

以上